

2022 年 IAEG 総会 参加報告

IAEG Japan National Group 代表 千木良 雅弘
国際委員会 委員長 長谷川 信介
国際委員会 幹事 山田 大介

1. IAEG 総会 (Council Meeting)

IAEG(International Association for Engineering Geology and the Environment)の総会は年 1 回開催されることになっている。今回は完全オンライン形式により、2022 年 9 月 14 日に開催された。各 National Group からは 86 名/41 か国・地域の出席となった。(昨年はハイブリッド形式で 41 名が出席)

Japan National Group からは、千木良 NG 代表は別の国際会議と重なったため欠席となり、国際委員会の長谷川委員長以下 3 名が出席した。定刻の GMT11:00 (JST20:00) に Rafiq Azzam 会長の開会挨拶で始まり、これまでの Council Meeting の議題を踏襲する形で議事が進行したが、役員改選に伴う投票をオンライン形式で初めて実施したため投票開票に手間取るなどして、結局 GMT15:50 (JST0:50) 頃に議事が終了した。以下に Council Meeting の概要を報告する。

1.1 主な議題

- ・会長活動報告、事務局長活動報告、会計報告と来期予算
- ・各地域の副会長による活動報告
- ・ブリテン編集長報告、Web サイト管理者報告
- ・YEG (Young Engineering Geologists Committee)の活動報告
- ・各種申請のプロポーザル (4th European Regional Conference (2024,Croatia), 4th African Regional Conference (2024,South Africa), 15th Asian Regional Conference (2025,Bangladesh))
- ・次期役員 (2023-2026) の選挙

1.2 主な話題

(1) 会員動向

会員数は、2022 年 9 月 7 日時点で 3,925 人(NG:42/69)であり、With Bulletin : 1,472 人、Without Bulletin : 2,453 人である。会員の多い国は、中国 : 585 人、ドイツ : 467 人、イギリス : 399 人の順である。日本の会員数は 69 人(うち With Bulletin : 63 人)である。

(2) IAEG Newsletters

2019 年~2022 年の間に NG/RG の活動報告を投稿した上位 4 か国は、中国 : 12、日本 : 11、 Bangladesh・ナイジェリア : 8、である。

(3) Conferences and meetings

世界的な COVID-19 の流行の間、主要な学術活動が見送りになった 2020 年を除いて、表のように IAEG は毎年各地域で主要な活動を主催・後援した。

< 参考 : IAEG Conferences and meetings in 2019-2022 >

Date	Activities	Venue
4-5 April, 2019	Mid-Year Working Meeting of IAEG ExCom	Paris, France
21-22 September, 2019	IAEG ExCom and Council Meeting 2019	Jeju Island, Korea
23-27 September, 2019	The 12th Asian Regional Conference of IAEG <i>Role of Engineering in Geology for the Safe Society and Environment</i>	Jeju Island, Korea
19-21 October, 2019	The 2nd Shaoxing International Forum on Rock Mechanics and Engineering Geology <i>New Technologies in Engineering Geology and Rock Mechanics</i>	Shaoxing, China
27-30 October, 2019	The 2nd IAEG African Regional Conference and 4th NAEAGE Annual International Conference <i>Environmental and Engineering Geological Mapping for Sustainable Development</i>	Abuja, Nigeria
6-7 April, 2021	IAEG ExCom and Council Meeting 2021	Athens, Greece
8-12 April, 2021	The 3rd European Regional Conference of IAEG <i>Leading to Innovative Engineering Geology Practices</i>	Athens, Greece
23 April, 2021	Mid-Year Working Meeting of IAEG ExCom	Online
8-10 September, 2021	The 1st Southern American Regional Conference of IAEG and 2nd Argentine Congress of Geology Applied to Engineering and the Environment <i>Geology Applied to the Development of Society</i>	Cordoba, Argentina
16-18 November, 2021	The 13th Asian Regional Conference of IAEG <i>Engineering Geology for Sustainable Resource and Infrastructure Development</i>	Singapore
21 June, 2022	Mid-Year Working Meeting of IAEG ExCom	Online
13-14 September, 2022	IAEG ExCom and Council Meeting 2022	Online
9-14 October, 2022	The 3rd IAEG Africa Regional Conference and 7th NAEAGE Annual International Conference <i>Engineering Geology: Imperative for Infrastructural Development and Sustainability of Cities in Africa</i>	LAGOS, Nigeria

(4) IAEG invited as a partner of the Kyoto Landslide Commitment 2020 (KLC2020)

2020 年, IAEG は, KLC2020 (the Kyoto Landslide Commitment 2020) からの要請に応える形で ICL (The International Consortium on Landslides)からの招待を受け入れ, Rafiq Azzam 会長が第 5 回世界地すべりフォーラム (WLF5) の組織委員会の名誉委員長に就任した。

(5) 50th Anniversary of Bulletin of Engineering Geology and the Environment (BOEG)

2020 年に, IAEG の公式科学雑誌 (BOEG) が発行されて 50 年になった。BOEG は, エンジニアリング・地質学分野において 10 指に数えられる位置を占めている。インパクトファクターの値は 2021 年に 4.130 を記録し, 過去の IAEG の歴史において 2 番目の記録となった。(過去最高は 2020 年 : 4.298)

(6) YEG (Young Engineering Geologists Committee) : 運営委員会は 40 歳以下の会員 9 名で構成

YouTube, Facebook, Twitter を新たに立ち上げており, 2020 年 6 月以降は e-Webinar シリーズ (毎月掲載) を開始・継続中である。

(7) IAEG 地域会議(IAEG Regional Conference)の開催

下記の各 NG から会議に関する提案が示され、いずれも本総会において承認された。

・マレーシア NG : 第 14 回 IAEG アジア地域会議(ARC)

2023 年が開催年であるが、同年には中国成都で第 14 回 IAEG コングレスが開催される予定であり、同時開催を避けるために 2024 年開催（1 年延期）にしたい旨が提案され承認された。ただし、第 14 回 IAEG コングレスは、本来 2022 年の開催が新型コロナの影響で 2023 年にずれ込んでいるもので、中国のゼロコロナ政策もあり、今後の情勢によっては開催が危ぶまれる状況である。なお、2024 年には第 37 回 IGC コングレスが韓国の釜山で開催される予定もあり、IAEG とも関係するので今後の IAEG 総会の開催地など、状況は流動的である。

・バングラデシュ NG : 第 15 回 IAEG アジア地域会議(ARC), 2025 年開催

バングラデシュは 2017 年に IAEG に加入しており 8 年目にして地域会議の開催が提案された。上記のようにマレーシアでの第 14 回 ARC が 2024 年にずれ込んでも、第 15 回の開催は 2025 年と思われる。

・南アフリカ NG : 第 4 回 IAEG アフリカ地域会議, 2024 年開催

アフリカ地域会議は第 2 回を 2019 年に、第 3 回を 2022 年に、いずれも 2016 年に IAEG に加入したナイジェリアで開催している。

・クロアチア NG : 第 4 回 IAEG 欧州地域会議(ERC), 2024 年開催

2021 年にギリシャで開催された第 3 回 ERC(当初予定は 2020 年であったが新型コロナにより延期)に続くもので、ERC は 4 年ごとの開催と思われる。クロアチアは 2018 年に IAEG に加入している。

・チリ NG : IAEG ラテンアメリカ会議, 2024 年開催

IAEG 南アメリカ地域会議は第 1 回が 2021 年にアルゼンチンで開催されている。

アジア地域会議は、1997 年に東京からスタートし、第 10 回記念会が 2015 年に京都で開催され、二巡目に入って 2 年ごとに各国で開催されている。IAEG 活動が活発になってきた国の行事として盛んに行われるようになっており、アジア以外の地域においてもアジアに刺激されて活発化している。日本が第 3 回 ARC をどのようなタイミングで、いつ開催するかなど、アジア地域をリードするうえでは非常に重要な事柄になってきていると思われる。

(8) 役員改選 (2023-2026)

・次期役員の改選はオンライン形式で実施された。開票結果は以下の通り。

President: Vassillis Marinos(ギリシャ)

Secretary General: Faquan Wu(中国)

Treasurer: Jean Alain Fleurisson(フランス)

Vice Presidents for Asia: Ranjan Kumar Dahal(ネパール) & YongSeok SEO(韓国)

Vice President for Africa: Moshood Niyi TIJANI(ナイジェリア)

Vice President for Australasia: Anthony Bowden(オーストラリア)

Vice President for Latin America: Víctor Manuel Hernández Madrigal(メキシコ)

Vice President for North America: Julien Cohen-Waeber(アメリカ)

Vice Presidents for Europe: Helen Reeves(英国) & Janusz Wasowski(イタリア)

新役員への交代は 2023 年の 1 月からである。

IAEG 会長に選ばれた Vassillis Marinis は、2021 年に逝去した元会長の Paul Marinis の子息で、ニュージーランドの Ann Williams とは僅差の選挙結果であった。年齢的に若いし、多少アジア地域に偏った感のある IAEG 活動が、これを機にヨーロッパ地域でより活発になると思われる。

事務局長の Faquan Wu と会計の Jean Alain Fleurisson は再任で、Faquan Wu は、2010 年から数えて事務局長が実に 4 期目になる。調整役として向いている気質、かつ確実に運営する要の役目をなしており、ここ 3 期は無投票での就任になっている。

アジア地域の副会長は 2019 年から 2 名体制に変更になった。前回の 2018 年の総会では事情があつて中国と韓国から無投票で選出されたが、今回は韓国、ネパール、インド、シンガポールから立候補し選挙になった。各国の副会長選への名乗りは、アジア地域会議の開催と関係が深いように思われる。ちなみに、2017 年はネパール、2019 年は韓国、2021 年はシンガポールで開催された。

他の地域の副会長は、概ね各地域内で調整のうえ候補者を出しているように見受けられ、ほとんどが無投票となっている。